



6/2 地域で見守る安心のまちづくり

株式会社リウボウストアとの浦添市地域見守りネットワーク事業協定締結式が市役所で行われました。

この事業は、市内の各団体や企業などの見守り団体と、市および浦添市社会福祉協議会が連携し、地域住民の見守り、安否確認、声かけ等を行う事業で、今回の締結により全体で26事業所が登録されました。

リウボウストアが展開する移動スーパー「とくし丸」は、買い物支援を行うとともに地域の見守りを行います。仲村専務は「買い物の楽しみを提供しながら、市民の安心、安全を見守っていききたい」と意気込みを述べました。



6/9 緊急事態宣言中の昼食支援

NPO法人ライフサポートてだこは、緊急事態宣言を受けて子どもたちや1人暮らしの高齢者へ昼食支援を始めました。

この取り組みは、県の沖縄未来ランチサポート事業を活用し休業中の子どもたちの昼食準備の負担軽減や、1人暮らしで食事の準備が難しい高齢者の手助けをしています。お弁当の配達が見守りや安否確認につながり、地域を支える取り組みにもなっています。

昼食支援を利用している高齢者は「退院後、体力が落ちてしまい、1人暮らしなので食事の準備が難しかった。本当に助かっています」と嬉しそうにお弁当を受け取りました。



6/1 「水道」に理解と関心を！

毎年6月1日から7日までを「水道週間」とし、生活に必要な不可欠な水道について、理解と関心を深めてもらうため広報活動などを通してPRしています。

本市では、水に関する学習を行う小学4年生に、浄水過程をわかりやすいイラストで解説した下敷きの配布を行いました。

「水道週間」スタートの日に合わせ、下敷きにも描かれているてだ子が港川小学校を訪問し、児童たちへ下敷きを贈りました。田中志郎教頭は「5月に浄水場見学に行く予定がなくなり残念だったが、この下敷きをきっかけに水に興味を持って学習に取り組んでほしい」と話しました。



6/1 「あつ、なんだ 便利やっさあ! キャンペーン」

マイナンバーカード交付を受けた市民を対象に、コミュニティバス「うらちゃんmini」の利用券(千円分)を配布するコラボキャンペーンがはじまりました!

このキャンペーンは、コンビニのコピー機で早朝6時30分から夜11時まで住民票の写しや所得証明書などの公的な証明書を取得できるとも「便利」な「マイナンバーカード」と、予約すると市内のどこでも駆け付け目的地まで連れて行ってくれる「便利」な「うらちゃんmini」がコラボしたキャンペーンです。

「うらちゃんmini」の利用券の配布は先着4,200セット限定です。マイナンバーカードの申請がまだの人は、ぜひこの機会にお申し込みください!



5/23 自然の材料でTシャツ染めに挑戦

浦添市国際交流協会(UIRA)と国際交流員シェイ・ヤマグチさんによる「親子体験みんなで学ぼうSDGs〜Tシャツ染めにチャレンジ〜」が行われました。アクリル絵の具だけでなく小豆やウコンなどの自然の染料も使い、輪ゴムで縛って模様を作り、色を塗り重ねます。染料がなじむまでの間は親子で楽しくキッチン用品の英単語を学習して、タイダイ染めのオリジナルTシャツの完成を待ちました。

参加者は「普段使いしやすいように、色の濃さを工夫する工程で発想が広がりました」と初めての体験を振り返りました。



5/29 浦添市デジタル人財育成事業キックオフ

浦添市デジタル人財育成事業のオリエンテーションが、アイム・ユニバースてだこホール(マルチメディア学習室)で開催されました。本事業は、CoderDojo浦添と提携し、小・中・高生を対象にプログラミングによるゲームやアニメーション制作、ロボット競技など、創造性を育む体験を通してこれからの人財に必要な創造性や自主的な学びの姿勢、仲間と共創する力などを培っていきます。

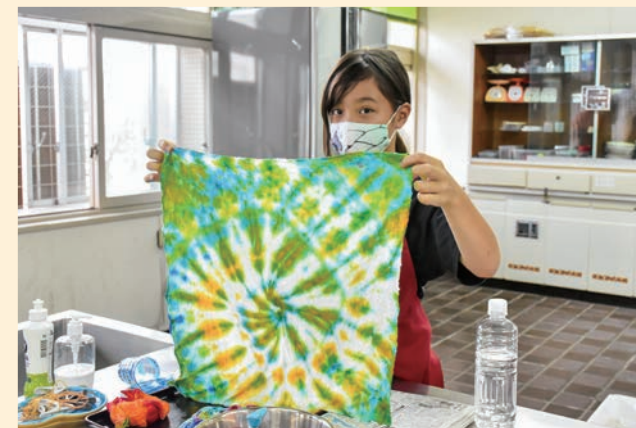
令和元年から行われている本事業は、今回で3年目を迎えます。今年度は「未来のデジタルシティ」をテーマにチームを組んで課題解決に取り組みます。

＼ 話題がいっぱい /

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい＝ひと休み)

市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



5/27 つながろう浦添 守ろうおじい・おばあ

浦添市・医療・介護事業所コロナ対策協働プロジェクトの記者会見が市役所で行われました。

長期化するコロナ禍で高齢者入所施設等はクラスターが発生しやすく、1度発生すると施設機能の維持が困難な上、医療機関への負担増大につながります。

そこで市と浦添総合病院が主体となり、市内の高齢者入所施設等の感染症対策の対応力向上を目指し、ZOOMでの研修会やSNSを活用した相談業務などを実施します。

感染防止対策室の原國室長は「SNSを活用し複数の施設でQ&Aを早急に共有することで、テンポアップした感染対策に取り組みたい」と話しました。